

令和7年度 事業経過報告

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

当会は昭和3年4月2日に「社団法人 大日本陰陽会」を設立許可（民法第34条 水野錬太郎文部大臣）され、昭和17年「社団法人 大日本易道会」と改称し、昭和24年「社団法人 全日本易道学会」と改称の後、昭和33年4月22日に定款の一部変更とともに「社団法人 日本易学連合会」に改称するという経緯をもち、今年で社団法人設立から98年を迎えました。

平成25年4月1日公益社団法人設立となりました。令和8年度も公益認定に相応しく社会の信用・信頼に応える法人として、より広く門戸を開き公益性を取り入れた研修会、講演会、連続講座、講習会、鑑定会（ボランティア、チャリティ含む）、寄付金増額や当会の認知度向上のほか、易学の発展に資する事業を計画し、活動していきます。また、懇親会は講師の先生や会員相互の交流を図る目的で開催します。

定款第2章／第4条及び第5条に則り、下記の事業経過を報告します。

1. 本部行事の開催

公益社団法人としての自覚を持ち、社会の信用・信頼・奉仕に応えるため、より広く門戸を開くことを心がけます。本部では総会・慰霊祭・シンポジウム・各種研修会・講演会を企画・運営し、会員の知識や人格向上を図ります。また、易学とそれに関わる学問の価値の啓発、鑑定士活動全般にわたるコンプライアンスの指導なども目的とし開催いたしました。各種行事等の後に行われる懇親会は会員相互の知識と情報の交換、参加者の交流を目的としています。

1. 本部 通常総会

① 第97回通常総会

期 日 令和7年5月12日（月）

場 所 明治記念館 かしわ・あやめの間 東京都港区元赤坂

出席者 会員30名・委任状出席224名 合計254名

内 容 令和6年度事業経過報告、令和6年度理事会議案事項報告、令和6年度収支計算書承認、令和6年度財務諸表承認、監査報告。令和7年度事業計画案報告、令和7年度予算案報告。
会員に向け会場の様子をオンラインで配信しました。

② 令和7年度「認定鑑定士章」貸与式 及び「入門課程修了証」授与式

期 日 令和7年5月12日（月）

場 所 明治記念館 かしわ・あやめの間 東京都港区元赤坂

内 容 入門課程修了証授与者（令和7年上期1名）、入門課程修了証授与式参加者1名。認定鑑定士章貸与者（令和7年上期4名）、認定鑑定士章貸与式参加者4名。

③ 第97回通常総会後の懇親会

期 日 令和7年5月12日（月）

場 所 明治記念館 若竹の間 東京都港区元赤坂

出席者 会員23名・来賓7名 合計30名

内 容 会員相互の知識と情報の交換、参加者の交流を深めました。交流のある他会の先生方もお招きし、易学団体同士の交流も深めました。

2. 本部 先師先哲慰霊祭

① 第97回 陰陽道先師先哲慰霊祭

期 日 令和7年10月14日（火）

場 所 真言宗豊山派大本山護国寺大本堂 東京都文京区大塚

仏式・護国寺 本殿 （貫首含め15名の僧侶にて読経）

神式・護国寺境内慰霊碑前（相模國一之宮・寒川神社 禰宜、権禰宜にて祝詞奏上）

出席者 会員22名・ご遺族列席者0名 合計22名

内 容 全国より護国寺に集まった会員が先師先哲の方々への慰霊と感謝を捧げました。自らの一年間の行為を省みるとともに、ご遺族の方にご逝去された先生方の生前ご活躍などをお伝えする機会となりました。

- ② 令和7年度「認定鑑定士章」貸与式 及び「入門課程修了証」授与式
 期 日 令和7年10月14日（火）
 場 所 護国寺・桂昌殿 東京都文京区大塚
 内 容 入門課程修了証授与者（令和7年下期0名）、認定鑑定士章貸与者（令和7年下期1名）、
 認定鑑定士章貸与式参加者1名。
- ③ 先師先哲慰霊祭時講演会
 期 日 令和7年10月14日（火）
 場 所 護国寺・桂昌殿 東京都文京区大塚
 講 師 中西正史先生（相模國一之宮・寒川神社 権禰宜）
 演 題 「ニューヨークの神道」
 出 席 者 会員22名 合計22名
 内 容 ニューヨークに点在する「神道を示すシンボル」を 神道アイコン と定義し、記号、風景、
 消滅したもの、新たなもののカテゴリーに分類して考察して発表していただきました。こ
 れらを通して、海外の公共施設では宗教色を排除する方針が採られることが多く、日本文
 化を紹介する際には 宗教的要素を控え、伝統文化・芸術としての側面を強調する必要性
 があることを改めて考えさせられました。
- ④ 先師先哲慰霊祭後の懇親会
 期 日 令和7年10月14日（火）
 場 所 護国寺・本坊書院 東京都文京区大塚
 出 席 者 会員15名 合計15名
 内 容 法事の精進落としにあたり、先師先哲の慰霊と感謝を捧げ、会員がその志を受け継ぐた
 めの再確認の機会となりました。

3. 本部 シンポジウム

第12回シンポジウム

- 期 日 令和7年6月29日（日）
 場 所 立命館大学 大阪いばらきキャンパス（OIC）B棟 B374 大阪府茨木市岩倉町
 講 師 大阪大学名誉教授・立命館大学教授 湯浅邦弘先生
 立命館大学専門研究員 六車楓先生
 演 題 「夢を語り占いを学ぶ」
 出 席 者 会員31名・一般他31名 合計62名（オンライン受講含む）
 内 容 第一部基調講演として湯浅先生に「白川漢字学から見た神と占い」、第二部講演として六
 車先生に「夢と邪鬼ー古代中国の精神社会」、第三部は対談で「現代人にとって占いの意義
 とは何か」についてお話していただきました。

4. 本部 焼納祭

第18回認定鑑定士章焼納奉告祭

- 期 日 令和7年11月12日（水）
 場 所 相模國一之宮・寒川神社拝殿 神奈川県相模原市宮山
 対 象 者 認定鑑定士章返納会員
 出 席 者 会員（理事含む）10名
 内 容 認定鑑定士章（木札）返納14枚に対し、感謝を込めてお焚き上げを行いました。

2. 支部報告会・研修会・講演会・講習会等の開催

各支部では、研修会・講演会・連続講座・講習会等を企画・運営し、会員の知識や人格向上を図ります。これら
 の活動は、易学とそれに関わる学問の価値の啓発や、公益法人の鑑定士に相応しい易学に基づく指導力の向上も目
 的として開催いたしました。

1. 北海道支部

① 報告会・春季研修会

- 期 日 令和7年4月20日（日）13時30分～16時30分
 場 所 札幌エルプラザ 北海道札幌市北区
 講 師 松本哲生先生

演 題 「干支九星」の占い方
出 席 者 会員 13 名・友の会 1 名・一般 10 名 合計 24 名（オンライン参加含む）
内 容 令和 6 年度事業報告・決算報告、令和 7 年度事業計画・予算案等の報告。干支九星と気学の歴史的流れに併せて原書の意義と方位盤について学びました。四盤鑑定の実践例を通し、手順、生年月日、各事業、原因と究明と結果、方災多岐に亘り鑑定について講義いただきました。

② 夏季研修会

期 日 令和 7 年 7 月 6 日（日）14 時 00 分～16 時 00 分
場 所 札幌エルプラザ 北海道札幌市北区
講 師 出口清明先生
演 題 病占における命ト相の活用法
出 席 者 会員 11 名・友の会 1 名・一般 8 名 合計 20 名（オンライン参加含む）
内 容 五術を体系的・相補的に用いて鑑定精度を高める手法を解説していただきました。各占術の特性を生かしつつ、コンプライアンスを遵守し、相談者の不安に寄り添い自己努力を促す重要性を説いていただきました。事例も含めた内容でしたので説得力のあるお話でした。

③ 秋季研修会

期 日 令和 7 年 11 月 9 日（日）14 時 00 分～16 時 00 分
場 所 札幌エルプラザ 北海道札幌市北区
講 師 近藤千雄先生
演 題 周易での卦のパターンによる分析
出 席 者 会員 13 名・友の会 1 名・一般 5 名 合計 21 名（オンライン参加含む）
内 容 卦のパターンによる分析では、①卦が持つ最初の風景、②爻の様子と卦の分類、③卦の行方（生卦法）、一陰五陽、一陽五陰卦、三陰三陽卦、十二消長卦、包卦などについて学びました。周易の奥深い実践的な占術として、大変貴重な御講義をいただきました。

2. 東京支部

① 報告会・春季研修会

期 日 令和 7 年 4 月 15 日（火）13 時 30 分～16 時 30 分
場 所 としま区民センター 東京都豊島区西池袋
講 師 豊山勝麗先生
演 題 東洋学術と九星気学による運命判断の基礎
出 席 者 会員 17 名・一般 15 名 合計 32 名（オンライン参加含む）
内 容 令和 6 年度事業報告・決算報告、令和 7 年度事業計画・予算案等の報告。豊山先生に東洋学術と九星学を応用しながら、現在・過去・未来を予知し、吉運福德・子孫繁栄・開運を招く方法をお話していただきました。

② 秋季研修会バス日帰り旅行

期 日 令和 7 年 9 月 28 日（日）
場 所 足利学校・鳳仙寺・本城巖島神社（桐生太田足利方面）
出 席 者 会員 14 名・一般 13 名 合計 27 名
内 容 桐生・太田・館林の城主・由良信濃守成繁公が、自らの菩提所として建立された鳳仙寺で重要文化財及び史跡が本堂及び境内に点在しており拝見させていただきました。通称“明石弁天祀”といわれた本城巖島神社をお参りした後、「日本最古の学校」である足利学校へ行き、国宝である周易に関する本や「釈奠（せきてん）」と呼ばれる儀式に使う道具（祭器）を拝見致しました。

③ 冬季研修会

期 日 令和 7 年 11 月 28 日（金）13 時 30 分～15 時 30 分
場 所 としま産業振興プラザ・イケビズ 東京都豊島区西池袋
講 師 マダム飛龍先生
演 題 手相でわかる！ 隠れた才能と性格
出 席 者 会員 23 名・一般 2 名 合計 25 名（オンライン参加含む）
内 容 日易連の名誉会員でありますマダム飛龍先生に手相を通して、まだ気づいていない才能や

性格判断方法を教えていただきました。また、手相鑑定を身に付けたい・レベルアップしたい会員の質問を受け付け、質疑応答の時間も設けました。

④ 新春研修会

期 日 令和8年2月8日（日）14時00分～15時30分
場 所 神田神社（神田明神） 東京都千代田区外神田
講 師 宗教法人神田神社 禰宜 岸川雅範
演 題 「神社と年中行事」
出 席 者 会員20名・一般12名 合計32名
内 容 本殿にて正式参拝をした後、講演では、絵馬についてや初午祭り、平安神宮について、江馬務について、銭形平次や節分祭についてお話をしていただきました。

3. 中部支部

① 報告会・春季研修会

期 日 令和7年6月14日（土）14時30分～16時30分
場 所 名古屋ウイंकあいち（愛知県産業労働センター）1310号 愛知県名古屋市中村区名駅
講 師 杉琢美先生
演 題 「周易」～実占から学ぶ易の判断法～
出 席 者 会員16名・一般10名 合計26名（オンライン参加含む）
内 容 令和6年度事業報告・決算報告、令和7年度事業計画・予算案等の報告をいたしました。研修会では、易经に密着している元号の説明から始まり、十二消長卦から一年の変化の説明がありました。また、実際の占例から導かれる解説は、大変役立つ学びとなりました。

② 秋季研修会

期 日 令和7年11月22日（土）14時30分～16時30分
場 所 名古屋ウイंकあいち（愛知県産業労働センター）1310号 愛知県名古屋市中村区名駅
講 師 玄珠先生
演 題 「周易」～易占における爻の使い方～犯人は誰だ？！～
出 席 者 会員15名・一般7名 合計22名（オンライン参加含む）
内 容 周易における爻の使い方について、成卦主の重要性や、一陽五陰・五陽一陰の捉え方の違いを分かりやすく学ぶことができました。さらに、比爻や応爻が判断において欠かせない要素であることも理解できました。多くの実占例を通して、成卦主が現在の状況から将来の見通しまで読み解く鍵となることが実感でき、大変有益な学びとなりました。

4. 京滋支部

① 報告会・春季研修会

期 日 令和7年4月20日（日）14時00分～16時00分
場 所 天龍寺 友雲庵・法堂・大方丈
講 師 天龍寺 宗務総長・法務部長 小川湫生和尚
演 題 禅について
出 席 者 会員20名・一般10名 合計30名
内 容 令和6年度事業報告・決算報告、令和7年度事業計画・予算案等の報告。天龍寺の小川湫生和尚より実際に坐禅が行われる禅堂で「禅について」お話いただきました。修行僧の寝泊りと坐禅を行う禅堂は冷暖房機器なく猛暑、極寒を耐える修行の場であること。また臨済宗の坐禅は問われた答えを考え続ける行いだと言われました。最後に人間の苦手は「続ける（継続）」ことであり、欲を抑え、ひたすらに同じことを繰り返すことが禅だと説かれました。その後、法堂「雲龍図」の特別参拝と大方丈縁側で庭園についてもお話いただき、名残りの桜を見ながら、大変有意義な春の一日となりました。

② 京滋支部鑑定会

期 日 令和7年6月15日（日）11時00分～16時00分
場 所 ゼスト御池 河原町広場
講 師 京滋支部会員・近畿支部会員
演 題 日本易学連合会 京滋支部による鑑定会
出 席 者 京滋支部会員11名・近畿支部会員2名

内 容 一般の方々に占いを体験いただき、公益社団法人日本易学連合会の広報活動の一環としても役立てる目的で開催しました。当日は能登半島震災復興支援として鑑定料の一部を募金させていただきました。

③ 秋季研修会

期 日 令和7年10月26日（日）14時00分～15時30分

場 所 京都経済センター 京都府京都市下京区函谷鉾町

講 師 松村佳扇先生

演 題 実践命式からの解読法

出 席 者 会員24名 合計24名（オンライン参加含む）

内 容 まず四柱推命学の歴史、基本の幹枝学（干支学）についてお話があり、その後、高市早苗首相、小泉進次郎議員を例題にあげた鑑定解説、また親御さんからの鑑定依頼で病気で亡くなった息子さん、9歳の男児の育て方など実際の相談事例を通じて四柱推命の鑑定について解説をいただきました。

④ 京滋支部鑑定会

期 日 令和7年11月16日（日）11時00分～16時00分

場 所 ゼスト御池 河原町広場

講 師 京滋支部会員・近畿支部会員

演 題 日本易学連合会 京滋支部による鑑定会

出 席 者 京滋支部会員12名・近畿支部会員1名

内 容 一般の方々に占いを体験いただき、公益社団法人日本易学連合会の広報活動の一環としても役立てる目的で開催しました。当日は能登半島震災復興支援として鑑定料の一部を募金させていただきました。

⑤ 京滋支部鑑定会

期 日 令和8年2月15日（日）11時00分～16時00分

場 所 ゼスト御池地下街 河原町広場

講 師 京滋支部会員

演 題 日本易学連合会 京滋支部による鑑定会

出 席 者 京滋支部会員10名・近畿支部会員2名 懇親会参加9名

内 容 一般の方々に占いを体験いただき、公益社団法人日本易学連合会の広報活動の一環としても役立てる目的で開催しました。当日は能登半島震災復興支援として鑑定料の一部を募金させていただきました。その後、懇親会を開催しました。

5. 近畿支部

① 報告会・春季研修会

期 日 令和7年4月13日（日）13時00分～16時00分

場 所 国民会館 大阪府大阪市中央区大手前

講 師 出口清明先生

演 題 『健康鑑定の実践における手相と四柱推命の活用法』

出 席 者 会員51名・一般20名 合計71名（オンライン参加含む）

内 容 令和6年度事業報告・決算報告、令和7年度事業計画・予算案等の報告。手相鑑定で見るべきポイント、身体状態をどのように鑑定するか、四柱推命での命式の五行バランスで見る健康鑑定を気功等の話を交えて二つの占術からの身体状態、疾病予防、食生活上のアドバイス方法等を幅広く解説いただきました。幅広い知見と若さ溢れる盛り上がりのある研修会になりました。

② 秋季研修会

期 日 令和7年9月14日（日）13時30分～16時00分

場 所 国民会館 大阪府大阪市中央区大手前

講 師 藤懸庚汪先生

演 題 『混迷時代の占いと占術家の役割とは』

出 席 者 会員40名・一般15名 合計55名（オンライン参加含む）

内 容 伝統の100周年にむけて日易連の歴史を振り返ることをメインとして、これからの占術家のあるべき姿・求められる理想像について、コンプライアンス（ネット社会の問題・落と

し穴)を含めて知見のある、副理事長の説得力ある貴重な研修会となりました。

- ③ ボランティア鑑定会 公益社団法人 大阪聴力障害者協会主催 全大阪ろうあ者文化祭
期 日 令和7年10月26日(日) 11時00分～15時00分
場 所 大阪長居障害者スポーツセンター 大阪府大阪市東住吉区長居公園
主 催 公益社団法人 大阪聴力障害者協会
出 席 者 鑑定士5名・世話役2名 合計7名
内 容 2001年から始まり、今年で24年目に入ります。途中、台風やコロナの影響で3回開催で
きませんでしたが、自分の運勢を聞く機会が少なく手話の方を通じて熱心に質問され鑑定
士も短時間で前向きなアドバイスを伝える良い勉強をさせていただいています。
- ④ ろうあ大阪新聞(毎月の運勢欄)執筆
期 日 令和7年4月～
主 催 公益社団法人 大阪聴力障害者協会
執 筆 仁井田佳泉先生(11月より神野容華先生)
演 題 月刊誌「ろうあ大阪」毎月の運勢担当(運勢、金運、健康、ラッキーアイテム)
内 容 「2020年11月より開始(継続)。「ろうあ大阪」運勢欄 執筆。読者の年代層が広いです
が九星気学を学んでいる鑑定士の方にはよい勉強になります。
- ⑤ 近畿支部勉強会
期 日 令和7年4月～(土曜 月1回) 10時00分～11時30分
場 所 大阪市立社会福祉センター 大阪府大阪市天王寺区東高津町→近畿支部事務所
講 師 朱麗華先生
演 題 九星気学
出 席 者 会員4名 合計4名
内 容 四柱推命を主流に学んでおられる方が多く、九星気学を学ぶ方は少ない状況です。周易、
人相、手相、九星気学など幅広く学ぶ場を提供できるのではと開催しました。来年度も開
催予定です。

6. 山陽支部

① 報告会・春季研修会

期 日 令和7年5月18日(日) 13時00分～16時00分
場 所 ダイワロイネットホテル姫路 兵庫県姫路市駅前町
講 師 松村佳扇先生
演 題 「住まいのコツから改善の手法」
出 席 者 会員11名 合計11名(オンライン参加含む)
内 容 令和6年度事業報告・決算報告、令和7年度事業計画・予算案等の報告。令和6年秋季研
修会での参加者からのリクエストにより運気の良い住まいづくりの実践編を学びました。

② 秋季研修会

期 日 令和7年11月16日(日) 13時30分～15時30分
場 所 カンファレンス21(福山会議室) 広島県福山市宝町
講 師 花咲ゆかり先生
演 題 食育と東洋医学
出 席 者 会員8名 合計8名(オンライン参加含む)
内 容 東洋医学の「食事が心臓の健康を作る」という考え方を基に現代医学的な分野で注目され
る「ケトン体回路」を活用し、超高齢化時代をきれいな腸と脳を持つ心臓を目指して生活
していきましょと学びました。

3. 出版事業部

① 「開運実占手帳」領布

期 日 令和7年8月販売
内 容 第17回目となる当会監修の手帳領布は、会員の意見を取り入れ暦を改良し使いやすくし、
令和7年度版に引き続き作成いたしました。鑑定に必要な東洋占術と西洋占術の基礎知識
を網羅し、令和7年度版暦・周易(易経)・断易(五行易)・相学(人相・家相・手相)・気

学（方位学）・四柱推命・算命学・姓名判断・奇門遁甲・納音の運勢・十二星座・タロット等、一冊で鑑定及び勉強に役立つ手帳です。携帯に便利で一年間利用できる手帳として好評を得ることが出来ました。また、会員及び希望者だけではなく、易学図書を専門に販売している書店でも販売し好評でした。

② 寒川神社発行「さがみ暦」

期 日 令和7年6月までに作成

内 容 当会と関係の深い、相模國一之宮・寒川神社が発行する「さがみ暦」の中の運勢欄を担当することにより、易学で使用する暦を世の中に普及できました。また、寒川神社で頒布する暦を通して、日本の文化の在り方を社会に示すことにもつながりました。

③ 「定年時代」運勢欄担当

期 日 令和7年1月～令和7年8月

場 所 関東方面（東京、神奈川、埼玉、千葉、茨城）

講 師 朱麗華先生

演 題 令和7年1月号からの九星運勢欄。本部からの依頼。

内 容 朝日新聞の購読者に対して月2回届く、アクティブシニアの応援誌「定年時代」に記載される運勢欄を8月分まで担当することになりました。購読者からの質問・問い合わせ・鑑定依頼もあり好評を得たことは、応援誌を通じて当会のPRにつながりました。

4. 鑑定事業部

① 認定鑑定士取得者による鑑定会

期 日 随時

場 所 日易連 317号室他

出 席 者 日易連認定鑑定士

内 容 本部事務所に問い合わせされた鑑定希望者を、認定鑑定士取得者が適切かつ親切に鑑定をして、お客様に喜ばれました。今年度は7件の鑑定依頼がありました。

② ボランティア鑑定会 「耳の日記念文化祭」

期 日 令和8年2月21日（土）、22日（日）

場 所 東京都障害者福祉会館 東京都港区芝

出 席 者 日易連認定鑑定士と会員 21日11名参加（鑑定士8名、受付3名）22日10名参加（鑑定士7名、受付3名）延べ21名

内 容 鑑定料500円で163名鑑定（21日83名、22日80名）

売り上げからスタッフ交通費を引いた金額の半分¥30,250を寄付しました。

③ 鑑定会 「第4回南北朝フェス」

期 日 令和7年10月25日（土）

場 所 お丸山ホテル（栃木県さくら市）

主 催 第4回南北朝フェス実行委員会（株式会社ヒストリンク）

出 席 者 日易連認定鑑定士と会員 4名参加

内 容 会員の鑑定経験を積むため鑑定会を開催しました。

5. 検定事業部

① 周易検定試験受験者の為の講習会

期 日 令和7年11月2日（日）

内 容 開催は中止となりました。

② 周易検定試験（初級）

期 日 令和7年10月5日（日）

内 容 開催は中止となりました。

6. 総務部

1. 占術団体との交流

占術団体として影響力のある組織、日本占術協会と東洋運勢学会との交流を深めることは、当会及

び日本社会にとって意義あることと考えます。

① 占術団体との交流 日本占術協会 シンポジウム

期 日 令和7年10月5日(日)

場 所 北とぴあ 東京都北区王子

出席者 藤懸副理事長、出口専務理事、恵本庶務理事

内 容 他占術団体が主催するセミナーに参加し、交流を行いました。

② 占術団体との交流 東洋運勢学会 懇親会

期 日 令和7年12月14日(日)

場 所 浅草ビューホテル 東京都台東区西浅草

出席者 藤懸副理事長、出口専務理事、恵本庶務理事

内 容 他占術団体が主催するセミナーと懇親会に参加し、交流を行いました。

7. 機関誌部

奇数月(隔月)に会員・友の会会員・他会関係者などに「日本易道タイムス」を送付します。本部及び支部からのお知らせ、研修会予定、報告書、月運、会員からの記事等を掲載しました。また、「日本易道タイムス増刊号」の記事選定・校正・発刊業務を行いました。

① 「日本易道タイムス」

期 日 令和7年4月～令和8年3月(奇数月に発刊)

内 容 奇数月(隔月)に会員・友の会会員、他会関係者などに「日本易道タイムス」を送付します。本部および支部からのお知らせ、研修会予定、報告書、月運、会員からの記事などを掲載します。月運執筆者は5月号より東京支部、健友彩帆先生に交替しました。

② 「日本易道タイムス増刊号」(秋号)

期 日 令和7年4月～令和8年3月(10月に発刊)

場 所 原書房・鴨書店・中尾書店(販売) 国立国会図書館(寄贈)

内 容 大会が主催する大学でのシンポジウムや研修会・講演会(大学教授・専門家など)での講義内容を編集し、小冊子として発行した。販売は原書房・鴨書店・中尾書店。国立国会図書館に寄贈。大会の認知度向上と易学・観相学を中心に学術化を推進し社会に普及。

8. 組織部

会の運営や事業のすべてにかかわる部門ですので、本部と各理事・支部長・担当者等の間で事がスムーズに運ぶよう働きました。また、入退会希望者の書類受付・審査・理事会承認等の手続き全般に関する事をしました。

9. 倫理部

規則と規律の中にこそ和と輪ができ、社会の一員として責任ある行動を取り、正直で恥じることなく社会に貢献することを心がけました。大会に所属する会員が倫理規程に違反するときは、会則に従って審議され処分を受けることになります。倫理規程の制定目的は会員の倫理規範の向上にあります。

① 会員名簿を更新掲載

② ホームページ毎月の更新業務及び各欄の見直し、修正など

③ 各支部会員のHP、名刺など、倫理規程に照らし調査

④ インターネット広告掲載規制と倫理懲戒規定の見直し

毎月のホームページの見直しと更新処理をしました。大会が定める会則に従い違反行為とみなされる方を皆様の協力に基づき調査しました。確認後、個々に通達しました。

10. 認定鑑定士部

大会には「入門課程修了証」と「認定鑑定士章」という資格を認定する制度があり、会員はそれぞれに質の向上を計り、それを目指しています。資格の取得に際しては試験や論文提出の義務があり、それを満たした会員に「入門課程修了証」は授与、「認定鑑定士章」は貸与の決まりがあります。様々な理由で退会した時は、「認定鑑定士章」は返却されなければなりません。返却された

「認定鑑定士章」は寒川神社で焼納奉告祭としてお焚き上げを行っています。また、木札と称されている「認定鑑定士章」は、昭和 40 年頃は文部省許可と記された経緯があります。

1. 本部「認定鑑定士章」貸与式 及び「入門課程修了証」授与式

期 日 令和 7 年 5 月 12 日（月）

場 所 明治記念館 かしわ・あやめの間 東京都港区元赤坂

内 容 入門課程修了証授与者（令和 7 年上期）1 名（授与式参加者 1 名）

認定鑑定士章貸与者（令和 7 年上期）4 名（貸与式参加者 4 名）

* 試験日は東西共に 3 月 22 日（土）13 時 00 分～

2. 本部「認定鑑定士章」貸与式 及び「入門課程修了証」授与式

期 日 令和 7 年 10 月 14 日（火）

場 所 護国寺・桂昌殿 東京都文京区大塚

内 容 入門課程修了証授与者（令和 7 年下期）0 名

認定鑑定士章貸与者（令和 7 年下期）1 名（貸与式参加者 1 名）

* 試験日は東西ともに 8 月 23 日（土）13 時 00 分～

以上